

東播磨における ミスジチョウの分布

広畑政己・近藤伸一・徳岡正己

山地性の種と思われていた本種も、越冬幼虫の調査によって、県下南西部や東部では山間部の民家の周辺にまで分布することが明らかになった。このことは、兵庫県南西部に於けるミスジチョウの分布（ひろおびNo.6）及び三田市周辺に於けるミスジチョウの分布（きべりはむしVol. 10 No.2）に報告したが、県下南部でも東播磨が未調査になっていたので、東は小野市や東条町から西は加美町、八千代町、加西市に至る地域の調査を行った。その結果、少ないながら、東播磨においても本種が分布していることがわかったため、その採集記録を報告しておく。

三田市とその周辺の調査では、個体数も多く、数多くの産地が見つかったが、東播磨では予想に反して生息地は非常に少ない。社町、東条町、加西市などかなり綿密に調査を行ったが見つからず、加美町以外では、八千代町、西脇市で各々1例が見つかっただけである。

県下東部では、神戸市、三木市、川西市など南の方にまですみついているが、西に行くに従って分布は北にかたよっている。これは、調査時にも感じることであるが、県下南東部の山にはカエデの類が見られるが、東播磨から西に行くに従って、カエデの類が北の山にしか見られなくなることからもうなづける。

しかし、周辺の山は植林されてカエデの類が見られなくても、本種が民家の庭にすみついているように、人為的に植えられたカエデの類をたよりに、今後南に分布を広げていくことも充分考えられる。

採集記録は下記の通りであるが、調査がまだ不十分で、加美町、中町、八千代町からは、新しい産地もこの他に見つかると思われる。

〈採集記録〉

加美町上寄上	1♂羽化	19-V-1982	徳岡正己
" 鳥羽	1♂ "	17-V-1982	"
" 清水	1♀ "	24-V-1982	"
" 轟	1♀ "	26-V-1982	"
八千代町大屋	幼虫 1頭	27-II-1983	広畑政己
西脇市住吉町札場	幼虫 1頭	11-II-1983	近藤伸一

(S.28: Masami Hirohata 姫路市)

(S.62: Shinichi Kondo 神戸市)

(Masami Tokuoka 西脇市)

オナガアゲハの翅脈異常個体

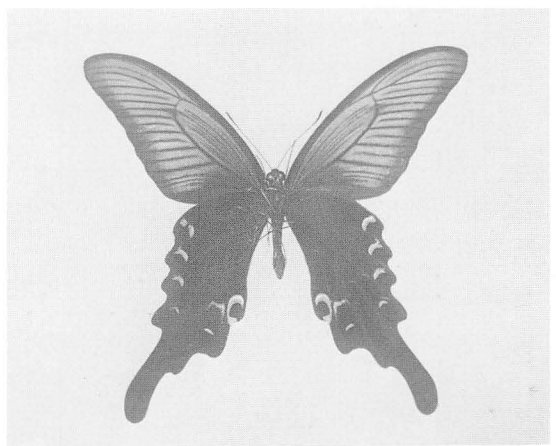
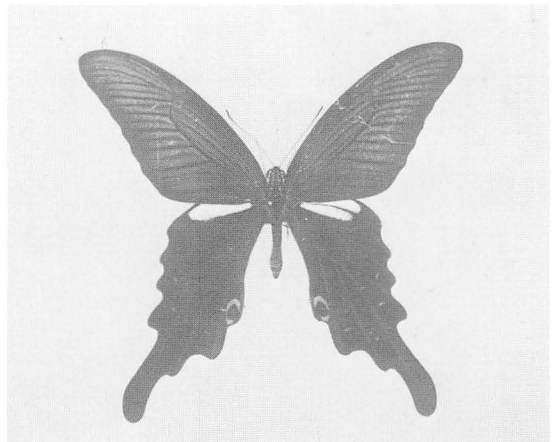
西 隆 広

翅脈が過剰のオナガアゲハ雄を記録したので報告する。

Fig. 1 および 2 に示すように、右後翅の第7脈と第8脈の間に1本の過剰翅脈があり、そのため表面では第8脈に添う白色帯が過剰翅脈に対しても存在し、2本の白色帯が認められる(図1)。また裏面は外縁に沿う赤色半月紋が第7脈と過剰脈、過剰脈と第8脈の間でそれぞれ認められる(図2)。本で

本個体は芦屋市三条町の湿地で吸水していたもので採集日は1983年8月7日、採集者は筆者である。

標本は筆者が保管している。



(S. 78: Takahiro Nishi 芦屋市)